



我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO₂削減支援事業

平成29年度予算(案)
230百万円(新規)

事業概要

モデル的にCO₂を削減する循環産業国際展開事業のFS調査について、以下※を考慮して実施。(主に、ごみ発電、メタン発酵、燃料化が対象)

※廃棄物分野の二国間協力や自治体間連携、温対法排出抑制等指針、CO₂削減効果等

事業スキーム

補助対象：民間事業者
(補助率：1/2、中小企業2/3)
実施期間：H29～H31年度



(参考) ミャンマー国における廃棄物発電事業の例

背景・目的

- アジア諸国等で**廃棄物政策が進められる機会を捉えて**、廃棄物**政策の整備支援等と連携**した事業展開支援。
- 海外展開やCO₂削減に**率先して取り組む意欲的な事業を支援し、国際展開事業モデルを確立**。
- アジア諸国等における**循環型低炭素社会形成に貢献**。

- ・ アジア諸国においては、廃棄物起因の環境汚染や処分場逼迫、COP21「パリ合意」等に対し、廃棄物・気候変動政策の推進が喫緊の課題。
- ・ CO₂削減のみならず、廃棄物管理の推進、メタン等削減によるGHG削減にも貢献。
- ・ 「日本再興戦略」等の位置づけ。H26～28年度実証事業成果も活用。



期待される効果

- 2030年度(平成42年度)までに6件の事業化等により、7.8万tCO₂/年(2030年度時点)削減。
- 国際展開経験が少ない我が国循環産業の国際展開を後押しし、途上国の廃棄物問題を解決・我が国経済に貢献。

